

# テスト証拠資料のイメージ

セキュリティ機能名

試験実施者：開発 一郎 試験実施日：2004年10月1日

テスト識別：AA-aa-aa-01	大分類：SF_I&A	中分類：正常系	小分類：データバリエーション																								
システム登録済みユーザ ID とシステム登録済みパスワードを入力した場合、システム利用者として識別認証に成功する。  テストの目標	テスト方法 ・利用者に提供される外部インターフェースを使用し、テストツール等は使用しない。  テスト条件 ・管理者により、ユーザ ID とパスワードの登録が完了していること。  テスト環境 ・XXXXX システム用アプリケーション Version 1.01 ・Windows XP Professional Service Pack 2	テスト方法	期待されるテスト結果																								
	テストのための初期条件	テスト手順																									
	テスト環境																										
	テスト手順																										
	期待されるテスト結果																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>操作</th> <th>結果</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>XXXXX システム用アプリケーションを起動する</td> <td>識別認証画面(ユーザ ID とパスワードの入力画面)が表示される</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>システム登録済みユーザ ID を入力する</td> <td>入力したユーザ ID がユーザ ID の入力域に表示される</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>システム登録済みパスワードを入力する</td> <td>入力したパスワードがパスワードの入力域に“*”(アスタリスク)で表示される</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Enter キーを押下する</td> <td>識別認証画面が消去され、業務選択画面が表示される</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順	操作	結果	その他	1	XXXXX システム用アプリケーションを起動する	識別認証画面(ユーザ ID とパスワードの入力画面)が表示される		2	システム登録済みユーザ ID を入力する	入力したユーザ ID がユーザ ID の入力域に表示される		3	システム登録済みパスワードを入力する	入力したパスワードがパスワードの入力域に“*”(アスタリスク)で表示される		4	Enter キーを押下する	識別認証画面が消去され、業務選択画面が表示される							
手順	操作	結果	その他																								
1	XXXXX システム用アプリケーションを起動する	識別認証画面(ユーザ ID とパスワードの入力画面)が表示される																									
2	システム登録済みユーザ ID を入力する	入力したユーザ ID がユーザ ID の入力域に表示される																									
3	システム登録済みパスワードを入力する	入力したパスワードがパスワードの入力域に“*”(アスタリスク)で表示される																									
4	Enter キーを押下する	識別認証画面が消去され、業務選択画面が表示される																									

テスト証拠資料は、テストの識別名などで明確に識別すること。

セキュリティ機能名は、設計書に記述されている機能名とリンクすること。

試験実施者：開発 一郎 試験実施日：2004年10月1日

テスト識別：AA-aa-aa-02	大分類：SF_I&A	中分類：正常系	小分類：セキュリティ機能	
システムに登録されていないユーザ ID とシステム登録済みパスワードを入力した場合、識別認証に失敗する。	テスト方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に提供される外部インターフェースを使用</li> </ul>		
	テスト条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者により、ユーザ ID とパスワードの登録が完了していること。</li> </ul>		
	テスト環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・XXXXX システム用アプリケーション Version 1.01</li> <li>・Windows XP Professional Service Pack 2</li> </ul>		
	手順	操作	結果	その他
	1	XXXXX システム用アプリケーションを起動する	識別認証画面(ユーザ ID とパスワードの入力画面)が表示される	
2	システムに登録されていないユーザ ID を入力する	入力したユーザ ID がユーザ ID の入力域に表示される		
3	システム登録済みパスワードを入力する	入力したパスワードがパスワードの入力域に“*” (アスタリスク) で表示される		
4	Enter キーを押下する	識別認証画面において、以下のメッセージが表示され、ユーザ ID とパスワードの再入力待ち状態になる。 「ユーザ ID が誤っています。再度入力してください」		

記述されている条件を満たせば、テストが実行できること。記述されている条件を満たしているのにテストが実施できない資料は NG!

「画面が表示される」と記述されていた場合、期待されるテスト結果の記述としては不適切である。

テスト環境は、ST に記述されている TOE の動作環境と同じであること。また、ST に記述されている環境は全てテストされていること。

操作として「登録していないユーザ ID を使用して動作確認を行う」などと記述されている場合、“動作確認を行う”という表現から何を確認すればよいか読み取ることができないため不適切な記述といえる。

実際のテスト結果として、このような画面のハードコピーを取得した場合、期待されるテスト結果と容易に比較ができるように、画面のハードコピーにテスト識別などを記入する。

テスト識別：AA-aa-aa-01、手順 3

- XXXXX システム -

ユーザ ID    ABC123

パスワード    \*\*\*\*\*

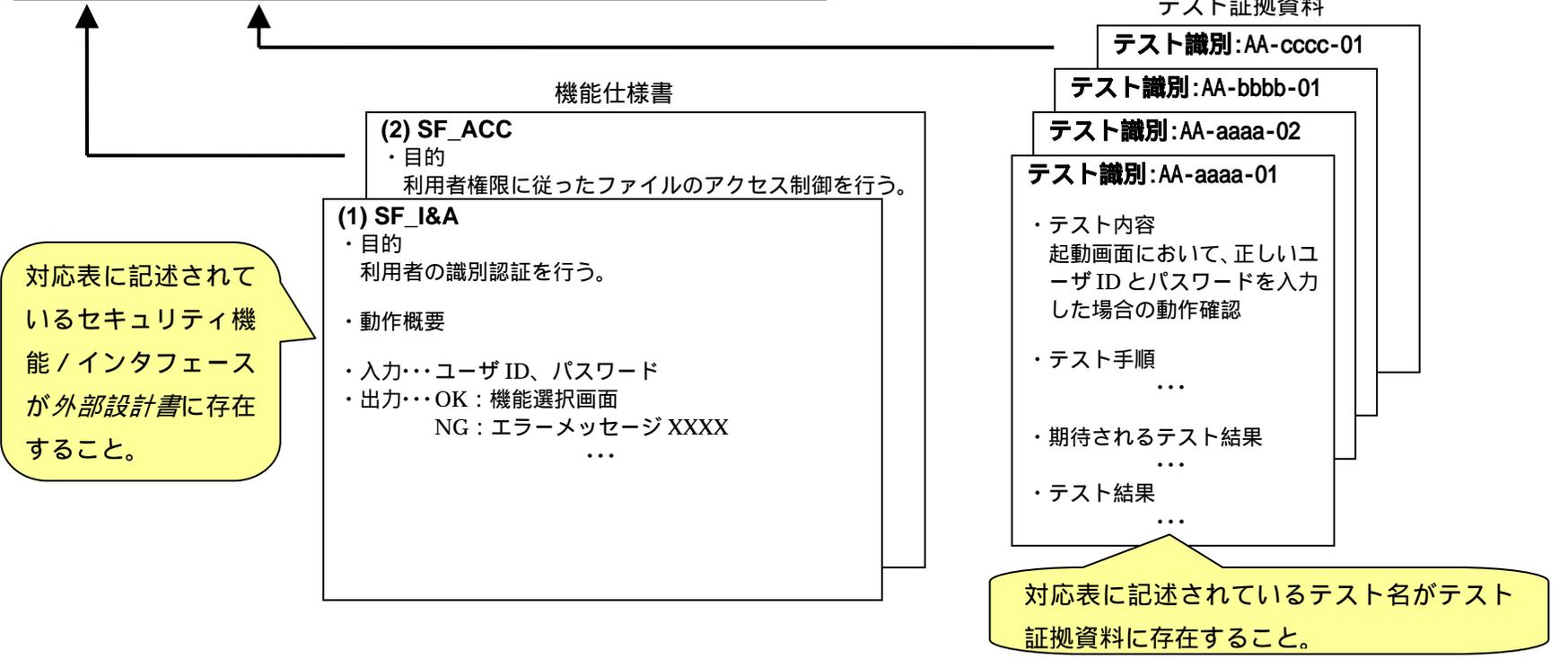
ユーザ ID とパスワードを入力して Enter キーを押下してください。

# テストの妥当性を判断する資料のイメージ

表 テスト項目一覧

機能/IF名	テスト識別	テスト概要
SF_I&A	AA-aaaa-01	識別認証の動作確認 (OK パターン)
	AA-aaaa-02	識別認証の動作確認 (NG パターン 1)
	AA-bbbb-01	識別認証の動作確認 (NG パターン 2)
	...	...
SF_ACC	AA-cccc-01	ファイルアクセス制御の動作確認

機能仕様書に記述されているセキュリティ機能とテスト証拠資料の対応関係がわかる資料。対応関係を正確に示すことで、外部インタフェースに関するテストが体系的に実施されていることを主張することができる。また、機能仕様書に記述されている全てのセキュリティ機能に対するテスト証拠資料が存在すれば、セキュリティ機能についてもれなくテストしたことが主張できる。



対応表に記述されているセキュリティ機能/インタフェースが外部設計書に存在すること。

対応表に記述されているテスト名がテスト証拠資料に存在すること。

表 テスト項目一覧

機能/IF名	テスト識別	テスト概要
SF_I&A	AA-aaaa-01	パスワード入力時の表示
	AA-aaaa-02	...
	AA-bbbb-01	...
	...	...
SF_ACC	AA-cccc-01	ファイルアクセス制御の動作確認

機能仕様書

(1) SF\_I&A

- ・目的  
利用者の識別認証を行う。
- ・動作概要  
起動画面のユーザ名欄にユーザIDを、パスワード欄にパスワードを入力しリターンキーを押下することで、利用者情報ファイルに格納されているユーザIDとパスワードと比較する。一致するユーザIDとパスワードが存在する場合は、機能選択画面を表示し、一致しない場合はエラーメッセージを出力する。また、入力されたパスワードは"\*"表示する。
- ・入力...ユーザID、パスワード
- ・出力...OK：機能選択画面  
NG：エラーメッセージ XXXX  
...

テスト証拠資料

テスト識別:AA-aaaa-01

- ・テスト内容  
データ保存機能において、入力したデータが暗号化された状態でハードディスクに保存されることの動作確認
- ・テスト手順  
...

対応表では、セキュリティ機能「SD\_I&A」(識別認証の機能)に対して「AA-aaaa-01」というテストを実施していることが主張されている。しかし、「AA-aaaa-01」のテスト証拠資料を検査した結果、「AA-aaaa-01」のテスト証拠資料がデータ暗号化機能のテスト内容だった場合、対応関係が不正確であるため、外部設計書に対するテストが正しく実施されていないと判断される。